

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	97,823,748株	2021年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,377,817株	2021年3月期	1,390,652株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	96,440,960株	2021年3月期3Q	92,270,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、2022年2月8日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	11
(1) 受注及び販売の状況	11
(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や供給制約の緩和を背景として、新型コロナウイルス感染拡大の影響により下押しされてきた景気の回復傾向が続きました。世界経済においても、堅調な個人消費に下支えされ景気の回復が持続し、製造業の設備投資は増加傾向が続きました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を!』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。来たるべき未来を見据えた魅力ある製品の開発に取り組み、主力の電子部品実装ロボットの分野ではハイエンドモデル「NXTR」、工作機械の分野ではロボット付き複合加工機「GYROFLEX T4000（呼称 ジャイロフレックス）」の市場投入を推し進め、さらに、がれき類に含まれる異物の自動除去を行うリサイクル分別ロボットの実証実験を2021年9月より開始するなど、社会的課題解決に向けた新規事業の創出にも積極的に取り組んでおります。また、ものづくりの効率化や原価改善に努めるとともに、ニューノーマル時代を踏まえたDXを積極的に取り入れることでペーパーレス化やWEB会議、テレワークの推進をはじめとする業務改革により固定費の一層の削減などに取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は109,355百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて9,383百万円(9.4%)増加しました。営業利益は21,307百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて5,982百万円(39.0%)増加し、経常利益は22,240百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて6,041百万円(37.3%)増加しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間と比べて3,394百万円(26.5%)増加し、16,202百万円となりました。

なお、当社は、2021年7月12日付で、双日株式会社の子会社であるフジマシンアジアプライベートリミテッド(以下「FMA」といいます。)の発行済み株式の全てを取得し、完全子会社としました。(FMAにつきましては、第2四半期は貸借対照表のみを連結しており、当第3四半期より損益計算書も連結しております。)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ロボットソリューション

スマートフォンをはじめとする通信機器関連、サーバー等の継続的な設備投資に加え、車載関連を中心とする欧米市場の伸長、さらにはこれら電子機器製造に欠かせない電子部品生産用の設備需要の増加を背景に順調に推移しました。この結果、売上高は101,249百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて9,330百万円(10.2%)増加しました。また、営業利益は24,137百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて5,738百万円(31.2%)増加しました。

マシンツール

北米および中国市場における売上は改善の兆しを見せ回復基調が見られた一方、日本国内市場では主力顧客である自動車関連向けの設備投資に対し慎重な姿勢が続きました。この結果、売上高は5,776百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて40百万円(0.7%)減少し、営業損益は486百万円の損失(前年同四半期:営業損失907百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間よりFMAの貸借対照表を連結したことに伴い、資産・負債が増加しております。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は154,620百万円となり、前連結会計年度末から10,760百万円増加しました。これは主に、棚卸資産が10,119百万円、受取手形及び売掛金が6,409百万円増加した一方、現金及び預金が5,509百万円減少したことによるものであります。固定資産は82,590百万円となり、前連結会計年度末から1,778百万円増加しました。これは主に、豊田事業所のショールーム及び本館改修工事などにより建物及び構築物が605百万円、岡崎工場立体駐車場増築工事などにより建設仮勘定が786百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、237,210百万円となり、前連結会計年度末から12,539百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は30,937百万円となり、前連結会計年度末から3,657百万円増加しました。これは主に前受金（流動負債のその他に含みます）が3,915百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,615百万円となり、前連結会計年度末と比べ219百万円減少しました。これは主に繰延税金負債（固定負債のその他に含みます）が362百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、33,552百万円となり、前連結会計年度末から3,438百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は203,657百万円となり、前連結会計年度末から9,101百万円増加しました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が6,268百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が16,202百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ5,589百万円減少し54,799百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは6,249百万円の収入（前年同四半期：23,563百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益などのプラス要因が、棚卸資産の増加や法人税等の支払額などのマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6,024百万円の支出（前年同四半期：8,079百万円の支出）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは6,440百万円の支出（前年同四半期：4,528百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,278	54,768
受取手形及び売掛金	36,374	42,783
有価証券	1,757	2,350
商品及び製品	9,996	14,043
仕掛品	20,804	22,755
原材料及び貯蔵品	7,364	11,487
その他	7,369	6,519
貸倒引当金	△86	△88
流動資産合計	143,859	154,620
固定資産		
有形固定資産	24,342	26,302
無形固定資産		
のれん	11,893	11,904
その他	12,958	14,147
無形固定資産合計	24,851	26,051
投資その他の資産		
投資有価証券	28,509	26,687
退職給付に係る資産	1,890	2,186
その他	1,217	1,361
投資その他の資産合計	31,618	30,236
固定資産合計	80,811	82,590
資産合計	224,671	237,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,025	9,863
未払法人税等	4,861	2,344
製品保証引当金	955	875
その他	10,438	17,854
流動負債合計	27,279	30,937
固定負債		
退職給付に係る負債	254	312
その他	2,580	2,302
固定負債合計	2,834	2,615
負債合計	30,114	33,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	7,034	7,077
利益剰余金	170,381	180,315
自己株式	△1,670	△1,656
株主資本合計	181,624	191,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,779	8,855
繰延ヘッジ損益	42	10
為替換算調整勘定	2,066	2,869
退職給付に係る調整累計額	742	185
その他の包括利益累計額合計	12,631	11,921
非支配株主持分	300	121
純資産合計	194,556	203,657
負債純資産合計	224,671	237,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	99,971	109,355
売上原価	63,369	65,680
売上総利益	36,601	43,674
販売費及び一般管理費	21,276	22,366
営業利益	15,324	21,307
営業外収益		
受取利息	72	69
受取配当金	782	536
為替差益	—	312
雑収入	198	119
営業外収益合計	1,053	1,038
営業外費用		
支払利息	△1	2
支払手数料	6	49
為替差損	157	—
損害賠償金	13	45
雑支出	5	8
営業外費用合計	180	105
経常利益	16,198	22,240
特別利益		
固定資産処分益	29	25
投資有価証券売却益	1,773	210
段階取得に係る差益	—	395
特別利益合計	1,802	630
特別損失		
固定資産処分損	80	75
投資有価証券売却損	0	47
投資有価証券評価損	40	31
特別損失合計	120	154
税金等調整前四半期純利益	17,880	22,716
法人税、住民税及び事業税	4,692	6,262
法人税等調整額	358	235
法人税等合計	5,050	6,498
四半期純利益	12,829	16,218
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,808	16,202

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	12,829	16,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,370	△923
繰延ヘッジ損益	△16	△32
為替換算調整勘定	△633	826
退職給付に係る調整額	276	△556
その他の包括利益合計	2,996	△686
四半期包括利益	15,826	15,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,875	15,492
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,880	22,716
減価償却費	5,363	5,744
のれん償却額	713	761
退職給付に係る資産負債の増減額	△310	△1,074
受取利息及び受取配当金	△855	△606
支払利息	△1	2
固定資産処分損益 (△は益)	50	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,773	△163
投資有価証券評価損益 (△は益)	40	31
売上債権の増減額 (△は増加)	1,718	△3,969
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,640	△7,742
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,398	△4,800
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,416	1,081
その他	1,314	2,452
小計	26,798	14,485
利息及び配当金の受取額	856	607
利息の支払額	△3	△2
保険金の受取額	18	—
法人税等の支払額	△4,107	△8,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,563	6,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,799	△1,200
有価証券の償還による収入	999	1,600
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,317	△5,680
有形及び無形固定資産の売却による収入	34	98
投資有価証券の取得による支出	△312	△288
投資有価証券の売却による収入	2,270	802
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,348
定期預金の預入による支出	△44	△45
定期預金の払戻による収入	108	72
その他	△18	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,079	△6,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△4,514	△6,213
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	—	△195
その他	△13	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,528	△6,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	△360	625
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,595	△5,589
現金及び現金同等物の期首残高	43,907	60,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,502	54,799

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(特定子会社以外の子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、双日株式会社の子会社であるフジ マシン アジア プライベート リミテッドの発行済み株式の全てを取得し、完全子会社としたため、同社及びその子会社4社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これによる主な変更点は、輸出版売において、従来は船積時点で収益を認識しておりましたが、インコタームズで定められた貿易条件に基づき危険負担が顧客に移転した時点で収益を認識する方法としたことです。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

当該会計方針の変更による影響は軽微です。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

当該会計方針の変更による影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当グループの各拠点においては感染拡大リスク低減のための対応を実施した上で事業活動を継続しております。新型コロナウイルス感染拡大を契機とするテレワークの普及などを受け、サーバー・ネットワーク等のインフラ、パソコン、スマートフォン、さらにはこれらを支える半導体関連分野における設備投資が見込まれます。一方で、新型コロナウイルス感染症は世界的な広がりを見せ、経済への影響が顕在化しております。現時点では世界経済への影響がしばらく続くことを想定して、業績予想及び会計上の見積りを行っておりますが、不確実性がさらに高まった場合には、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	91,918	5,816	97,735	2,236	99,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	124	127
計	91,921	5,816	97,738	2,360	100,098
セグメント利益又は損失(△)	18,399	△907	17,491	61	17,553

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,491
その他の区分の利益又は損失(△)	61
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△2,235
四半期連結損益計算書の営業利益	15,324

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,249	5,776	107,025	2,329	109,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	—	8	142	150
計	101,257	5,776	107,034	2,471	109,505
セグメント利益又は損失(△)	24,137	△486	23,651	71	23,723

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,651
その他の区分の利益又は損失(△)	71
セグメント間取引消去	7
全社費用 (注)	△2,422
四半期連結損益計算書の営業利益	21,307

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	86,938	93.2	91,918	92.0	21,524	84.5
マシンツール	4,214	4.5	5,816	5.8	3,730	14.7
報告セグメント計	91,152	97.7	97,735	97.8	25,255	99.2
その他	2,128	2.3	2,236	2.2	206	0.8
合計	93,281	100.0	99,971	100.0	25,461	100.0

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	106,385	91.6	101,249	92.6	※49,404	89.9
マシンツール	7,173	6.2	5,776	5.3	5,083	9.2
報告セグメント計	113,559	97.8	107,025	97.9	※54,487	99.1
その他	2,569	2.2	2,329	2.1	500	0.9
合計	116,128	100.0	109,355	100.0	※54,988	100.0

(※) 第2四半期連結会計期間より連結子会社としたフジ マシン アジア プライベート リミテッドの連結開始時の受注残高を含めております。

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	141,129	94.1	125,569	92.2	42,064	91.4
マシンツール	6,219	4.1	7,866	5.8	3,686	8.0
報告セグメント計	147,349	98.2	133,436	98.0	45,750	99.4
その他	2,672	1.8	2,725	2.0	260	0.6
合計	150,021	100.0	136,161	100.0	46,010	100.0

(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	5,271	52,199	22,621	4,204	544	6,218	859	91,918
マシンツール	2,795	1,083	259	951	403	316	7	5,816
報告セグメント計	8,067	53,282	22,880	5,155	947	6,534	867	97,735
その他	2,233	—	2	—	—	—	—	2,236
合計	10,301	53,282	22,882	5,155	947	6,534	867	99,971
構成比(%)	10.3	53.3	22.9	5.2	0.9	6.5	0.9	100.0

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	7,442	52,028	18,028	8,340	3,420	10,475	1,514	101,249
マシンツール	2,322	1,281	412	1,093	547	111	7	5,776
報告セグメント計	9,764	53,309	18,441	9,434	3,967	10,587	1,522	107,025
その他	2,322	1	5	—	—	—	—	2,329
合計	12,086	53,310	18,446	9,434	3,967	10,587	1,522	109,355
構成比(%)	11.1	48.7	16.9	8.6	3.6	9.7	1.4	100.0

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	7,366	70,519	29,894	5,674	1,117	9,415	1,582	125,569
マシンツール	3,566	1,234	378	1,716	536	424	8	7,866
報告セグメント計	10,932	71,754	30,272	7,390	1,653	9,840	1,591	133,436
その他	2,722	—	3	—	—	—	—	2,725
合計	13,654	71,754	30,276	7,390	1,653	9,840	1,591	136,161
構成比(%)	10.0	52.7	22.3	5.4	1.2	7.2	1.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2022年3月期 第3四半期決算発表

2022年2月8日
株式会社FUJI
(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の通期予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	151,000	10.9	30,200	37.9	30,800	32.6	22,600	31.6

(注) 2021年11月8日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。

2. 当期の連結受注高・売上高の通期予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高	売上高
	通期予想	通期予想
ロボットソリューション	144,000	139,500
マシンツール	10,000	8,500
その他	3,000	3,000
合計	157,000	151,000

(注) 2021年11月8日に公表いたしました予想から受注高のみ修正を行っております。

3. 当期の主な科目の第3四半期連結累計期間実績と通期予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	第3四半期連結累計期間実績	通期予想
設備投資額	7,768	11,000
減価償却実施額	5,744	7,800
研究開発費	6,221	8,400

(注) 2021年11月8日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。